



強い絆で築く地域の連携

青葉区連合町内会長協議会
会長 武田 篤夫



平成二十一年は衆議院の選挙をはじめ、市長選挙、県知事選挙と続き慌ただしい一年でありましたが、マスコミの政権交代のムードもあって民主党が圧勝し、非自民政権が誕生して半年余りが過ぎました。その間予算の無駄を省き3兆円を捻出するため、連日テレビで事業仕分け作業の様子が放映され、派手な政治ショーが繰り広げられましたが、大幅な公共事業等のカットで不況は進み、景気はどん底の状態であり、一瀉千里(いつしゃせんり)を駆ける虎(寅年)に景気の回復を期待するところであります。

一方、町内会の関係では、町内会等育成奨励金について、河北新報の一連の報道があり、九月二十九日には「町内会の4割不適切受給」の記事が掲載されました。青葉区連協の中でも名指しで掲載された町内会もありましたが、夫々の町内会

地域ごとの課題解決に向けて

青葉区長 遠藤 延安



青葉区連合町内会長協議会の皆様には、市政並びに青葉区政の各般にわたり、ご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。また、地域の発展と住み良いまちづくりに、日夜ご尽力

いただいております各町内会長さんをはじめ、地域の皆様には心から敬意を表する次第でございます。昨年、東北楽天ゴールデンイーグルスのクライマックスシリーズ進出やベガルタ仙台のJ2優勝、そしてJ1復帰など、地元プロスポーツ界では明るい話題が続きました。また、経済や雇用の面では仙台都市圏への自動車関連産業の進出が進んでおり、将来に向けた躍動が期待されるところでございます。

さて、仙台市では今年、少子化や高齢化を見据えたこれからの都市づくりの基本的な指針となる新しい総合計画を策定して参ります。また、平成20年3月に策定いたしましたコ

は独自で河北新報に抗議し解決を見ております。ただし、名指しされた町内会はもちろんの事、他の町内会からも、河北新報に抗議行動をとる大きな動きがあり、市連合町内会長会でも個々で解決する問題ではないとの認識から、十一月十二日付けで抗議文を送り、責任ある回答を求めました。

その結果、河北新報から十一月二十四日付けで、記事の趣旨は4割近くの町内会で、町内会等育成奨励金の申請世帯数と実際の世帯数に違いがある現状を市民に提示し、市が習慣として継続している現行奨励金制度の是非を市民に考えてもらう目的で掲載したとの回答がありました。町内会費納入世帯数で申請している町内会と、そうでない町内会との間で奨励金受給状況に差異が生じる事は不公平であり、市の支出姿勢として適切さを欠いているとの認識に立ち、記事にしたと

青葉区連協としては批判に屈する事なく強い絆で対応し、青葉区の区政に協力し益々の発展に努めて行きますので、今後とも区連協に対して、建設的なご意見とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

各町内会におかれましては、地域コミュニティの中心としての役割が期待されておりますが、後継者不足や各種行事への参加者の減少など、多種多様な課題があるかと存じますが、このような時代であればこそ、将来を見据えた私どもも行政の果たすべき役割が強く求められるところであります。その意味でも仙台市におきましては、次の世代を担う子供たちの健康やかな成長を支え、この美しい杜の伝統を引き継ぎ、都市の元気の源である地域の産業、地域コミュニティの活性化を実現し、そして市民一人一人が安全に安心して暮らしていくことができるよう、全力をあげ取り組んで参りたいと考えております。

青葉区役所といたしましては、身近な市民サービスの提供機関として、安全で安心な住み良いまちづくり、地域の活力づくりに、皆様方と協働で取り組んで参りますので、今後とも、特段のご支援とご協力をお願い申し上げます。



市政功労者の表彰

II 市政施行百二十周年記念式 II

市政の発展に功績のあった方々の表彰式が、七月六日仙台国際センターで開催され、青葉区連協からは、齋藤貞夫氏(通町地区町内会連合会長)と、山口善吉氏(中山学区連合町内会長)が受賞されました。

町内会役員永年勤続表彰

町内会で永年にわたり活躍されてきた方々の表彰式が、十一月十七日江陽グランドホテルで開催されました。(敬称略)

町内会長特別表彰

天野 光(荒巻地区・西あけほの町内会)

町内会長勤続20年表彰

狩野 かず子(上杉地区・大仏前町内会) 佐藤 冬見(東六地区・仙台駅前X橋西部繁栄会) 山田 孝一(中江地区・フローラハイツ仙台自治会) 小松 巖(荒巻地区・荒巻神明川湖会) 千葉賢吾(貝ヶ森地区・貝ヶ森秋町内会)

町内会長10年以上勤続退任表彰

小山 満(東六地区・六新町内会) 横山 士氣男(小松島地区・露無町内会) 島津 義典(台原北部地区・台原六本松自治会) 高橋 善光(荒巻地区・新堤町町内会) 三浦 淳(荒巻地区・やまて会) 星 正男(中山地区・中山南町内会) 吉岡 祥次(木町通地区・国分町三丁目北振会) 齊藤 孝一(八幡地区・柏木西部自治会) 加藤 末治(国見地区・国見東部町内会)

町内会長勤続10年表彰

佐々木 幸男(北仙台地区・ひばりヶ丘町内会) 飯塚 久夫(桜ヶ丘地区・桜ヶ丘東町内会) 阿部 邦彦(立町地区・国分町親交会) 佐々木 滋(八幡地区・土橋通北部親睦会) 敦賀 中道(八幡地区・新坂町西部町内会) 玉川 知男(貝ヶ森地区・貝ヶ森中町内会)

町内会役員特別表彰

長岡 満(台原北部地区・台原六本松自治会)

町内会役員勤続10年表彰

受賞者 八十名

町内会長5年以上勤続退任表彰(区長表彰)

受賞者 四名





地域一体で取り組んだ 青葉区総合防災訓練

中山学区連合町内会 会長 山口善吉

大規模地震の発生により、中山地域が大被害を受けたとき「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災理念に基づき、実践的な訓練を実施し、防災対応能力を身体で覚えると共に地域住民の連帯と防災意識の高揚を図るため、中山小学校を主会場として青葉区総合防災訓練が実施されました。

平成二十一年六月十二日(金)午前七時三〇分、宮城県沖を震源とする震度6強の大地震が発生し、中山学区内の家屋数件が半倒壊、火災も発生し、交通、電気、ガスが遮断し水道管が数か所で破裂し断水になったため、地域住民の安全を憂慮し、中山小学校に避難させるという想定で『自助・共助』を基本に組織された『中山学区防災安全委員会』の全面的な協力のもと、中山学区として初めての試みとして、将来の担い手として期待される中・小学校生徒・児童全員が参加、総員で千七百名が参加した大規模な訓練となりました。



当日は、各家庭での災害対応訓練、比較的坂の多い町内会では、リヤカー・担架を使った負傷者の搬送などの発災対応訓練、小学校校庭では、応急手当訓練、消火器取扱い訓練、バケツリレー消火訓練、梯子車による校舎屋上からの被災者

救助訓練、避難所開設・運営訓練、仮設トイレ組立て訓練、非常食炊出し訓練(中山中学校生徒二十名が活躍など各種の訓練が繰り広げられました)。「発生確率、三十年以内に九十九%」と予測されている宮城県沖地震などに備え、日頃のおつきあいが大切であることが再認識された、貴重な訓練となりました。

自然と町並みが調和した景観の地

南吉成学区連合町内会 会長 齋藤和平

南吉成学区連合町内会は、立地的には仙台市の西部に位置し、南吉成、西吉成、権現森山、吉成、中山台、中山吉成、中山台西の大小七つの町内会で構成され、地区には、約3千9百世帯、およそ1万5百人が住んでいます。当地区は、高台にあり、泉ヶ岳連峰が一望でき四季折々の自然を楽しめる権現森山、さらに北環状線沿いには、大小の商店が立ち並び「自然と町並みが調和し渾然一体となった景観の地」でもあります。



七つの町内会は、地域住民の福祉増進及び地域会員相互の親睦を図るために、日々一丸となって取り組んでいます。当連合町内会の特徴の一つに「団結力の強さ」が挙げられ、その原動力は秋の学区民大運動会にあります。20年以上にわたって、町内対抗戦が行われ「今年こそは優勝を！」との意気込みで、「綱引き」をはじめ熱い団体戦が毎年繰り広げられ、団結を図っています。また、地区にある「南吉成コミュニティ・センター」では、スポーツ、文化を愛する70団体に及ぶ愛好会・同好会の人達が活動し、定期的に「いつものこんさーと」と題してクラッシュの演奏会も開催しており、同センターの利用者は年間1万3千人にもなります。

また、毎年「南吉成小学校入学生」「南吉成中学校卒業生」全員に、未来を託す気持ちで、連合町内会として、記念品を送っています。これからも、「地域の誰もが住んでよかった」と思えるまちづくりを目指し、活動を続けていきたいと思っています。

新任町内会長研修会

六月二十五日、青葉区役所において、新しく町内会長に就任された方々を対象とした研修会を開催しました。新任町内会長八十三名のうち、四十三名の参加があり、当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、青葉区の概要や地域活動に密着した各種制度について、青葉区まちづくり推進課、区民生活課、道路課より説明がありました。

連合町内会長移動研修会

十月十八日、十九日、作並湯の駅「ラサント」において、連合町内会長を対象とした研修会を開催しました。二十一名の連合町内会長が参加の下、宮城総合支所長を講師に迎え、「景観を活かして未来を拓く」と題して、研修しました。

町内会長研修会

十一月十八日、江陽グランドホテルにおいて、区内の全町内会長を対象に、研修会を開催しました。町内会長三百四十七名が参加の下、仙台市長より「地域から始まるまちづくり」と題して講演をいただきました。また、町内会の活動事例について、企画市民局地域活動推進課より説明がありました。

町内会会員研修会

十二月十一日、エルパーク仙台五階セミナーホールにおいて、町内会の会員を対象に研修会を開催しました。

仙台市消費生活センターの職員を講師に「悪質商法にあわないために」というテーマで講演があり、参加された百六名の会員は、身近な内容であるため、講師の話を熱心に聴いていました。



